

「原水爆禁止世界大会（オンライン）国際会議」における発言

（中国人民平和軍縮協会）

ご出席の皆様、まずはじめに中国人民平和軍縮協会を代表して、今回の国際会議の主催者である原水爆禁止日本国民会議にご挨拶申し上げます。現在、新型コロナが世界中に蔓延しておりますが、中国と世界各国はコロナを撃退し、経済を安定化させ、民生を保障するという巨大な任務に直面しています。主催者はオンラインで「原水爆禁止世界大会国際会議」を開催し、各関係者のために新たな交流の場を提供しました。こうした主催者の努力に心より感謝申し上げます。平和軍縮協会はこの場を借りてコロナ撃退のために多大な貢献をした日本の医療従事者と日本の方々に対して心よりお見舞い申し上げます。

新型コロナはここ百年近くの間で人類が遭遇した中で影響範囲が最も広範なパンデミックであり、世界各国に大きな衝撃を与え、数十万人の尊い命を奪いました。コロナ禍に直面して、中国共産党と中国政府は一貫して人民第一、生命第一を堅持し、果敢に厳しい制限措置を取り、全力で生命を救う措置を取りました。中国人民は言葉では言い表せないほどの努力をし、大きな犠牲を払い、コロナを防ぎ撃退する戦いで大きな戦略的成果を手にしました。目下、中国国内のコロナ感染は基本的にコントロールできていますが、依然として再拡大の圧力に直面しています。中国はコロナの予防管理の常態化を前提として、経済社会開発の全体計画を策定し、世界経済の回復に原動力を与えたいと思っています。

ウイルスは全人類の共通の敵です。中国は法に基づき、公開性、透明性をもって責任のある姿勢で迅速に国際社会にコロナ情勢の情報を流し、対コロナ国際協力を積極的に推進し、各国に対して予防管理と応急処置の経験を出し惜しんだことは全くありません。中国はコロナが各国の人々にもたらしたのと同じ苦しみを感ずき、その能力を最大限に発揮して国際社会に人道支援を提供し、コロナに対する世界の戦いを支援し、実際の行動で人類衛生健康共同体の構築を促進してきました。第73回WHO総会オンライン会議の開会式で、習近平国家主席は中国が2年以内に20億米ドルの国際支援を提供し、世界人道支援物資備蓄庫および拠点を中国に設立し、アフリカの疾病予防と管理能力の向上を支援し、コロナ・ワクチンはグローバルな公共財としてG20メンバーと共に「最貧国の債務返済一時停止イニシアチブ」を実施することを厳粛に表明しました。コロナ流行の初期には多くの国から多大なご支援をいただき、日本政府と各界の人々が中国に多くの援助物資を寄付しました。「山川、域を異にすれども、風月、天を同じうす」などの詩歌はコロナ禍の中で生活をしてきた多くの中国民衆の心を和ませ、感動させました。そこに示された中日間の友情は将来歴史に残るでしょう。平和軍縮協会も原水爆禁止など日本の友好団体からお見舞いの手紙を受け取りました。この機会を借りて、友人の皆様へ心より感謝申し上げます。

ウイルスには国境がなく、人種は区別されません。この全人類の健康・福祉と世界の発展に関する戦いでは、団結と協力が最も強力な武器です。しかし、世界の国々は故意にコロナ禍を政治化し、ウイルスにレッテルを貼り、中国に責任を押しつけ、世界保健機関（WHO）を攻撃しました。私たちはこれに強く反対します。中国はウイルスの被害国であり、また世界の防疫における貢献国であり、公正な扱いを受けるべきで、非難されるべきではありません。全世界の人々の目はごまかせず、中国の努力と貢献を客観的・理性的に評価できると私たちは信じており、日本の友人のご理解とご支援を得られることを願っています。

今日の世界は100年に一度の大変革の中にあります。世界の安全保障の課題は増大し、国際的核不拡散メカニズムを継続させることは困難で、二極構造の下で確立された世界の軍備管理システムの基盤は揺さぶられ、核保有国と非保有国の間の矛盾は際立ち、国際的な核軍縮プロセスは長期間停滞しています。核大国は核戦略を次々と調整し、核戦力を強化し、軍拡競争のリスクを高めてきました。私たちの住む北東アジアにおける核拡散のリスクは際立っており、地域の平和と安定への直接の脅威となっています。こうした背景のもと、原水爆禁止日本国民会議が今回の会議を開催することは非常に有意義であり、この場を借りて皆様に中国の核戦略と政策を簡単に説明したいと思えます。

第一に、中国は自衛防御の核戦略を堅持します。中国の核戦略はすべての核保有国の中で唯一無二であります。中国はいかなる時、いかなる状況においても核兵器を先制使用せず、非核保有国および非核兵器地帯に対して核兵器を使用せず、または使用すると威嚇しないという方針を一貫してとってきました。中国は一貫して国家の安全に必要な最低限のレベルで核戦力を維持し、いかなる形態の核軍拡競争にも参加せず、他国に核の傘を提供せず、他国に核兵器を配備していません。これらの誓約にはいかなる条件もつけておりません。

第二に、中国は世界における軍事バランスを積極的に維持します。中国は積極的に国際的な軍備管理、軍縮、不拡散の努力に参加し、軍拡競争に反対し、最終的に核兵器の全面禁止、完全撤廃を主張しています。中国はすでにNPT等の数十の多国間軍備管理、軍縮、不拡散条約に署名あるいは加入しています。中国は核保有5大国による核戦略と核政策の対話強化を強力に推進し、各国が客観的に互いの戦略的意図を汲み取り、相互に安全保障上の懸念に配慮し、管理をめぐる相違を適切に処理し、戦略的な判断ミスによる事故や危機を防止するよう主張しています。

第三に、中国は原子力の安全面における国際協力の促進に努めます。原子力の平和的開発と利用は世界各国の共通の願いです。中国は原子力の安全分野のすべての成文国際法を批准し、国際原子力機関（IAEA）が原子力の安全面の国際協力において中心的な役割を果たすことを支持し、国家間における原子力の安全政策の交流と実務的協力を重視しています。中国は真摯に国際的義務を履行し、公平と協力を基調とし共

に利益を得られる国際原子力安全システムの構築を進め、公平原則を堅持し、世界的な原子力安全の水準を高め、原子力安全運命共同体を築こうとしています。

最近、各国が「中国が米露核軍縮交渉のプロセスに加わる」という話を誇大に宣伝していますが、これに対して私たちは、最大の核兵器保有国が核軍縮に特別で優先的な責任を負っていると認識しています。私たちは米露に対して新 START 条約延長で合意し、この基礎の上にさらに大幅に核兵器を削減して、その他の核兵器国が多国間核軍縮交渉に参加するための条件を整えるよう呼びかけています。

中国人民平和軍縮協会は中国最大の民間平和団体で、その目的は軍拡競争と戦争に反対し、軍縮を勝ち取り、核兵器及びその他の大量破壊兵器を全面禁止・完全撤廃し、共に世界平和を維持し、人類運命共同体の構築を推進しています。私たちは原水禁を含む日本の平和団体と共に地域の平和と安定の維持に貢献します。

最後に「原水爆禁止世界大会国際会議」が無事に成功するようお祈りしています。どうもありがとうございました。